



## ⑥ 中高 美術科問題の解答について (注意)

1. 解答はすべて、別紙のマークシートに記入すること。
2. マークシートは、電算処理するので、折り曲げたり、汚したりしないこと。また、マーク欄はもちろん、余白にも不要なことを書かないこと。
3. 記入は、HBまたはBの鉛筆を使って、ていねいに正しく行うこと。(マークシート右上の記入方法を参照) 消去は、プラスチック消しゴムで念入りに行うこと。
4. 名前の記入 名前を記入すること。
5. 教科名の記入 教科名に「美術」と記入すること。
6. 受験番号の記入 受験番号欄に5けたの数で記入したのち、それをマークすること。
7. 解答の記入
  - ア. 小問の解答番号は1から65までの通し番号になっており、例えば、25番を 

25
----

 のように表示してある。
  - イ. マークシートのマーク欄は、すべて1から0まで10通りあるが、各小問の選択肢は必ずしも10通りあるとは限らないので注意すること。
  - ウ. どの小問も、選択肢には①、②、③……の番号がついている。
  - エ. 各問いに対して一つずつマークすること。

(マークシート記入例)

フリガナ	ヨシキ タロウ	教科名	美術
名前	神戸 太郎		

数字で記入……

受験番号					小問番号	解答記入欄	小問番号	解答記入欄	小問番号	解答									
						1 - 25		26 - 50		51									
1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	26	0	0	0	0	51	0	0	0	0
2	0	0	0	0	2	0	0	0	0	27	0	0	0	0	52	0	0	0	0
3	0	0	0	0	3	0	0	0	0	28	0	0	0	0	53	0	0	0	0
4	0	0	0	0	4	0	0	0	0	29	0	0	0	0	54	0	0	0	0
5	0	0	0	0	5	0	0	0	0	30	0	0	0	0	55	0	0	0	0
6	0	0	0	0	6	0	0	0	0	31	0	0	0	0	56	0	0	0	0
7	0	0	0	0	7	0	0	0	0	32	0	0	0	0	57	0	0	0	0
8	0	0	0	0	8	0	0	0	0	33	0	0	0	0	58	0	0	0	0
9	0	0	0	0	9	0	0	0	0	34	0	0	0	0	59	0	0	0	0
10	0	0	0	0	10	0	0	0	0	35	0	0	0	0	60	0	0	0	0
11	0	0	0	0	11	0	0	0	0	36	0	0	0	0	61	0	0	0	0

【1】 次の問いに答えよ。

(1) 「小学校（中学校）学習指導要領解説 特別の教科 道徳編」（平成29年7月 文部科学省）における「第2章 道徳教育の目標」に関する記述のうち、適切でないものを①～⑤から選び、番号で答えよ。（\*は、中学校・特別支援学校中学部）

- ① 学校における道徳教育は、社会の変化に対応しその形成者として生きていくことができる人間を育成する上で重要な役割をもっている。
- ② 道徳科が学校の教育活動全体を通じて行う道徳教育の要としての役割を果たすことができるよう、計画的、発展的な指導を行うことが重要である。
- ③ 学校における道徳教育は、児童（\*生徒）の発達段階を踏まえて行われなければならない。
- ④ 道徳科が目指すものは、学校の教育活動全体を通じて行う道徳教育の目標と同様によりよく生きるための基盤となる道徳性を養うことである。
- ⑤ 各教科は、各活動における道徳教育の要として、それらを補ったり、深めたり、相互の関連を考慮して発展させたり統合させたりする役割を果たす。

(2)「小学校(中学校)学習指導要領解説 特別の教科 道徳編」(平成29年7月 文部科学省)における評価に関する記述のうち、適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。(※は、中学校・特別支援学校 中学部)

- ① 道徳性の評価の基盤には、教師と児童(※生徒)との人格的な触れ合いによる共感的な理解が存在することが重要である。その上で、児童(※生徒)の成長を見守り、努力を認めたり、励ましたりすることによって、児童(※生徒)が自らの成長を実感し、更に意欲的に取り組もうとするきっかけとなるような評価を目指すことが求められる。
- ② 道徳科で養う道徳性は、児童(※生徒)が将来いかに人間としてよりよく生きるか、いかに諸問題に適切に対応するかといった個人の問題に関わるものである。このことから、小学校(※中学校)の段階でどれだけ道徳的価値を理解したかなどの基準を設定することがふさわしい。
- ③ 道徳性は、極めて多様な児童(※生徒)の人格全体に関わるものであることから、評価に当たっては、個人内の成長の過程を重視すべきではない。
- ④ 道徳性の諸様相である道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度のそれぞれについて分節し、学習状況を分析的に捉える観点別評価を運じて見取ろうとすることは、児童(※生徒)の人格そのものに働きかけ、道徳性を養うことを目標とする道徳科の評価として妥当である。
- ⑤ 道徳科の評価は、選抜に当たり客観性・公平性が求められる入学者選抜とはなじまないものであり、このため、道徳科の評価は調査書には記載してもよいが、入学者選抜の可否判定に活用することのないようにする必要がある。

(3) 「小学校（中学校）学習指導要領解説 特別の教科 道徳編」（平成29年7月 文部科学省）「第3章 道徳科の内容」では、道徳教育の目標を達成するために指導すべき内容項目を、四つの視点から分類整理している。次の四つの視点A～Dと内容項目ア、イの適切な組合せを①～⑤から選び、番号で答えよ。

四つの視点

- A 主として自分自身に関する事
- B 主として人との関わりに関する事
- C 主として集団や社会との関わりに関する事
- D 主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関する事

内容項目

ア 友情、信頼

イ よりよく生きる喜び

- ① アーA      イーB
- ② アーB      イーA
- ③ アーB      イーD
- ④ アーC      イーA
- ⑤ アーC      イーD

【2】 次の問いに答えよ。

(1) 次の文は、「小学校学習指導要領解説 図画工作編」(平成29年7月 文部科学省)における、教科の目標に関する解説の記述である。(ア)～(ウ)にあてはまる適切な語句を①～⑤から選び、番号で答えよ。なお、同じ記号の( )には同じ語句が入る。

今回の改訂では、図画工作科における知識として、対象や事象を捉える造形的な視点について(ア)を通して理解することを示している。なお、ここで言う「知識」とは、形や色などの名前を覚えるような知識のみを示すのではない。児童一人一人が、(ア)を通して理解したものであり、造形的な視点である「形や色など」、「形や色などの感じ」、「形や色などの造形的な特徴」などが、(イ)「知識」として習得されたり、新たな学習の過程を経験することで更新されたりしていくものである。児童が(ア)を大切にした学習活動を行うことにより、一人一人の理解が深まり、「知識」の(ウ)となる。これは、図画工作科が担っている重要な学びである。

- |             |             |         |       |       |   |
|-------------|-------------|---------|-------|-------|---|
| (ア) ① 教材の価値 | ② 共通の体験     | ③ 協働の体験 |       |       |   |
| ④ 自分の感覚や行為  | ⑤ 何度もくり返すこと |         | 4     |       |   |
| (イ) ① 普遍的な  | ② 活用できる     | ③ 豊かな   | ④ 確かな | ⑤ 新しい | 5 |
| (ウ) ① 応用    | ② 体験        | ③ 理解    | ④ 習得  | ⑤ 習熟  | 6 |

(2) 次の文は、「小学校学習指導要領解説 図画工作編」(平成29年7月 文部科学省)における、指導計画の作成と内容の取扱いに関する解説の記述である。誤っているものを①～④から2つ選び、番号で答えよ。

(10) コンピュータ、カメラなどの情報機器を利用することについては、表現や鑑賞の活動で使う用具の一つとして扱うとともに、必要性を十分に検討して利用すること。

- ① この事項は、情報機器の扱いや、それらを授業のねらいと照らし合わせて積極的に検討して利用することについて示している。
- ② コンピュータは、その特長を生かして、何度でもやり直したり、色を変えたりするなど、様々に試しながら表現の可能性を広げていくことができる。
- ③ 鑑賞活動においては、作品や作品に関する情報をインターネットから検索するなど、自分の見方や感じ方を深めていく手掛かりに活用することもできる。
- ④ カメラは、自らが発見できない身近にある形や色などのよさや美しさを見つけたり、自分たちの活動を記録したり、撮影した写真を材料として表現に活用したりすることができる。

7	8
---	---

(3) 次の文は、「中学校学習指導要領解説 美術編」(平成29年7月 文部科学省)における美術科の目標についての解説である。下線部(ア)の解説として誤っているものを①～④から選び、番号で答えよ。また、(イ)～(ウ)にあてはまる語句をそれぞれ①～④から選び、番号で答えよ。

(2) (ア) 造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。

- (ア) ① この部分は、発想や構想と鑑賞の双方に重なる資質・能力を示している。  
 ② 造形的なよさや美しさとは、形や色彩などから感じるよさや美しさとともに外形には見えない本質的なよさや美しさなどのことである。  
 ③ 表現の意図と工夫とは、作品に込められた作者の表現方法の工夫などのことである。  
 ④ 美術の働きなどとは、身の回りにある自然物や人工物の形や色彩、材料などの生活や社会を心豊かにする造形や美術の働きなどについて示している。

9

主題を生み出しとは、生徒自らが感じ取ったことや考えたこと、目的や条件などを基に「自分は何を表したいのか、何をつくりたいのか、どういう思いで表現しようとしているのか」など、(イ)であり、独創的で個性豊かな発想や構想をする際に基盤になるものである。

今回の改訂では、学ぶことに興味や関心をもち、(ウ)、自己の学習活動を振り返って次につなげる「主体的な学び」の実現が求められている。「A表現」の活動において主題を生み出すことはこのことから重要な役割をもっている。

- (イ) ① 強く表したいことを心の中に思い描くこと  
 ② 自分にとって新しいものやことをつくりだすこと  
 ③ 感じたことや想像したことなどを造形的に表すこと  
 ④ 形や色などを基に想像をふくらませること

10

- (ウ) ① 自分なりに対象や事象を味わい  
 ② 形や色などから新たなことを思い付いて試したり、かき加えていったり  
 ③ よさや美しさなどを感じ取ったり考えたりし  
 ④ 見通しをもって粘り強く取り組み

11

見方や感じ方を深めるとは、鑑賞の視点を豊かにし、対象や事象の見方や感じ方を深めることである。中学生は心身ともに成長し、大人に近づく時期でもある。第1学年の時に感じられなかったことが、第3学年になると感じられるようになることもある。見方や感じ方を深めるためには、このような（エ）を考慮し、その時期の見方や感じ方を大切にすることが求められる。また、造形的なよさや美しさを感覚的に感じるだけに終わるのではなく、感じ取ったことを基に、（オ）や表現の意図と工夫、生活や社会の中の美術の働きや美術文化などについて考えることで、見方や感じ方はより深められる。

- (エ) ① 生徒一人一人の見方や感じ方  
② 生活の中の美術の働き  
③ 発達の特長  
④ 成長

12

- (オ) ① 造形的なよさ  
② そのよさや美しさ  
③ 表し方  
④ 作者の心情

13

(4) 次の文は、「中学校学習指導要領解説 美術編」(平成29年7月 文部科学省)における指導計画の作成と内容の取扱いの解説の記述である。(a)～(e)にあてはまる最も適切な語句をそれぞれ①～⑩から選び、番号で答えよ。なお、同じ記号の( )には同じ語句が入る。

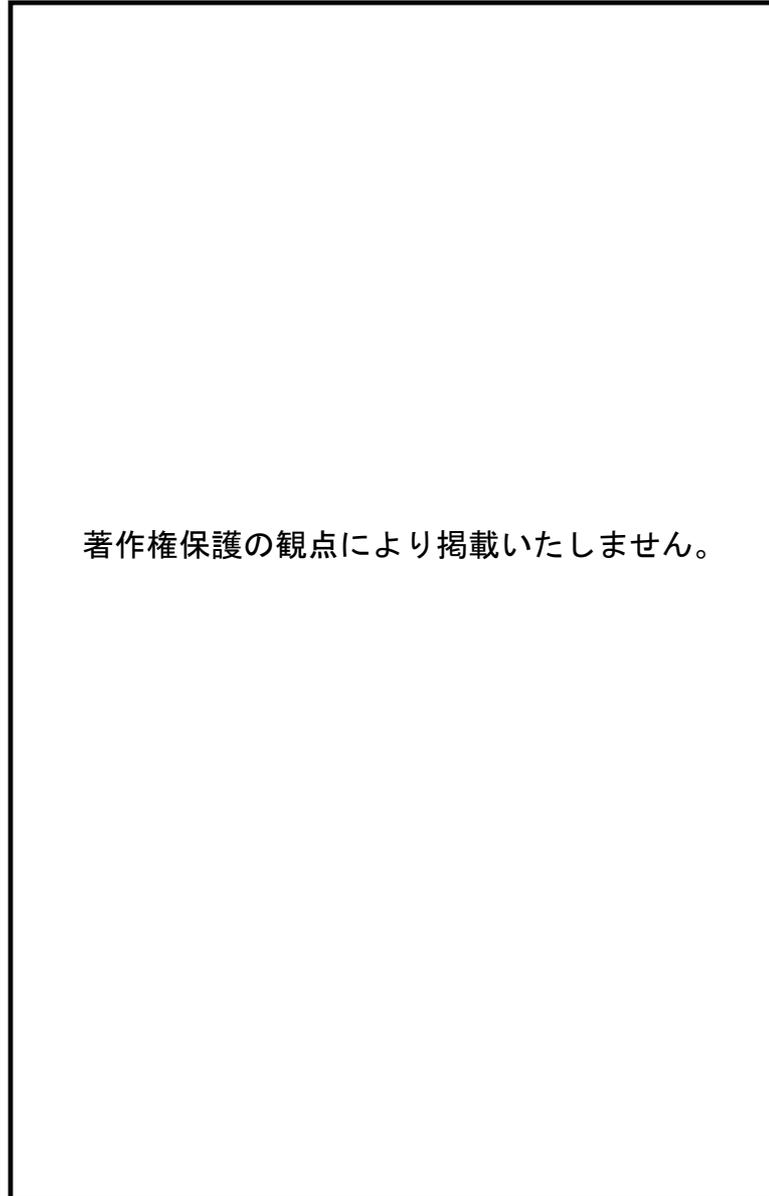
**描く活動とつくる活動のいずれも経験させる**

ここでいう「描く活動」とは、スケッチや絵、( a ) など平面上に描くことを主とするが、立体の表面に描くことも含まれる。また、「つくる活動」とは主として彫刻や( b )などの立体的な表現のことである。各内容の指導においては、描く活動とつくる活動のいずれも経験させるようにし、描く活動とつくる活動の学習に著しい偏りが生じないように配慮することが大切である。「A表現」においては、表現方法を幅広く捉えることができるように、発想や構想に関する項目とそれを実現させる( c )に関する項目は、独立させている。そのため、描く活動とつくる活動の双方を取り入れた表現も考えられるが、その際、描く活動とつくる活動を通して身に付けさせる( d )を明確にし、単に平面、立体作品を制作させるのではなく、それぞれの活動を通して生徒の個性豊かな表現に関する( d )を伸ばし、様々な( e )ように全体として調和のとれた指導計画を作成することが大切である。

- ① 表現力
- ② 創造的に表す技能
- ③ 知識
- ④ 工芸、立体的デザイン
- ⑤ 資質・能力
- ⑥ 技能
- ⑦ グラフィックなデザイン
- ⑧ 工芸、建築
- ⑨ 美術表現に親しめる
- ⑩ アニメーション

(a)	(b)	(c)	(d)	(e)
14	15	16	17	18

(5) 次の文は、「高等学校学習指導要領解説 芸術（音楽 美術 工芸 書道）編 音楽編 美術編」（平成30年7月 文部科学省）における、美術Ⅰ 科目の目標と内容構成等との関連を示す表である。(a)～(c)にあてはまる適切な語句をそれぞれ①～⑩から選び、番号で答えよ。なお、同じ記号の( )には同じ語句が入る。



著作権保護の観点により掲載いたしません。

- |                |             |             |
|----------------|-------------|-------------|
| ① 知識及び技能       | ② 知識        | ③ 技能        |
| ④ 思考力、判断力、表現力等 | ⑤ 思考力及び判断力等 | ⑥ 判断力及び表現力等 |
| ⑦ 思考力及び表現力等    | ⑧ 思考力       | ⑨ 判断力       |
| ⑩ 表現力          |             |             |

(a)	(b)	(c)
19	20	21

【3】平面表現について、次の問いに答えよ。

- (1) 次の、岡本太郎 (1911-1996) の生涯と作品についての文を読み、(ア) ~ (ウ) にあてはまるものを (ア) は①~⑤、(イ)、(ウ) は①~④から選び、番号で答えよ。

岡本太郎は、18歳のとき両親の渡欧に同行し、パリに留学する。哲学や民俗学を学ぶ一方、(ア) のグループに入り、多くの芸術家と親交を深めた。

28歳のころ、第二次世界大戦が勃発し帰国。戦後、さまざまなジャンルで創作活動始める。《森の掟》は、社会の現実を風刺して書いた作品。また、絵画だけではなく、彫刻、版画、陶芸、工業デザイン、写真など、さまざまな作品を生み出した。

晩年は、絵画や彫刻だけに飽き足らずその活動範囲は拡大していく。多くの著作物を通して自らの芸術論を訴え、既存の常識や秩序に挑み続けた。

この作品(イ)には、原爆の炸裂する瞬間が強烈な色彩で、画面いっぱいに描かれている。そこには、原爆の悲惨さだけを伝えるのではなく、この悲劇に負けずに力強くあってほしいという思いが込められている。メキシコから依頼を受けたこの作品は、(ウ) と同時進行で制作し、1968~69年のわずか1年で完成させた。

- (ア) ① フォーヴィズム      ② 注象芸術      ③ エコール・ド・パリ  
④ 表現主義      ⑤ ダダイスム

著作権保護の観点により掲載いたしません。

23

(ウ) ① 梵鐘《歓喜》 ② 《傷ましき腕》 ③ 《太陽の塔》 ④ 《夜》

24

(2) 次の、ピカソ (1881-1973) の生涯と作品についての問いに答えよ。

(a) ピカソの生涯と作品についての文を読み、(ア)、(イ) にあてはまる語句をそれぞれ①～⑤から選び、番号で答えよ。なお、同じ記号の ( ) には同じ語句が入る。

驚くほどの描写力で、早くから絵の才能を開花させたピカソは、19歳でパリへ出た。

画家になってからは、常に新しい表現を追求し続け、「青の時代」、「バラ色の時代」を経て、画家ジョルジュ・ブラックとともに、風景や人物、静物をさまざまな角度から捉え、それらを一つの画面に統合する (ア) という手法を確立した。

(ア) の後、ピカソの作品は、形も色彩も、よりいっそう自由で伸びやかになる。ピカソは生涯で、絵画、スケッチ、立体、陶芸など、多数の作品を制作した。

1937年4月、内戦中のスペイン北部の町が、ドイツ軍の無差別爆撃を受け、多くの市民が犠牲となった。当時、パリにいたピカソは、その悲惨な状況を知り、パリ万国博覧会のために制作を依頼されていた壁画のテーマを急きょ変更。試行錯誤を重ね、約1か月という短い期間で (イ) を描きあげた。この大作は、20世紀を代表する反戦絵画となった。

- (ア) ① フォーヴィズム                      ② シュルレアリスム                      ③ タダイズム  
④ 注象主義                                  ⑤ キュビズム

25

- (イ) ① 《ミノタウロマキア》                      ② 《イカロスの墜落》                      ③ 《泣く女》  
④ 《ゲルニカ》                                  ⑤ 《生きる歓び (アンティボリス)》

26

(b) 次のピカソの作品を年代順にならべたとき、正しいものはどれか。①～⑤から選び、番号で答えよ。

著作権保護の観点により掲載いたしません。

- |   | 古い |   |   |   | 新しい |   |   |   |   |
|---|----|---|---|---|-----|---|---|---|---|
| ① | エ  | → | オ | → | イ   | → | ア | → | ウ |
| ② | エ  | → | オ | → | イ   | → | ウ | → | ア |
| ③ | エ  | → | イ | → | オ   | → | ア | → | ウ |
| ④ | オ  | → | イ | → | ア   | → | エ | → | ウ |
| ⑤ | オ  | → | エ | → | イ   | → | ア | → | ウ |

(3) ピカソが関わった芸術運動について、次の文を読んで、下の問いに答えよ。

洗練を極めた末に力を失ったとみなされた既存の芸術からの解放を求めて、非西欧や、アカデミックな訓練を受けていないつくり手や民衆による造形に新たな美の可能性を求める傾向は20世紀に入ってさらに高まった。ピカソが、アンリ・ルソーの絵画に見出したのも、従来の芸術表現を乗り越える手がかりとしての「素朴さ」であった。1905～06年頃にはヴラマンクやドラン、マティスがそれぞれ民族学的資料とされていたアフリカ彫刻や仮面を美的な対象としてとらえ始め、ドランはロンドンでオセニアやエジプトなど多様な地域や時代のオブジェに触れたことをマティスに書き送っている。

(ア) 文中の下線部 a の「アンリ・ルソー」の作品はどれか。①～⑤から選び、記号で答えよ。

著作権保護の観点により掲載いたしません。

28

(イ) 文中の下線部 b について、この芸術運動の名称はどれか。①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① ジャポニズム                      ② プリミティヴィズム                      ③ シェルレアリスム  
④ アール・ブリュット                      ⑤ フェーヴィスム

29

(ウ) 文中の下線部 c のように、日本において、岡本太郎が見出した造形美はどれか。①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 天平彫刻                      ② 埴輪                      ③ 古墳                      ④ 弥生土器                      ⑤ 縄文土器

30

(4) 絵の具の特性について、次の問いに答えよ。

(a) 絵の具の乾燥と定着について、(ア)、(イ) にあてはまる絵の具の種類を①～⑤から選び、番号で答えよ。

著作権保護の観点により掲載いたしません。

- ① 版画絵の具      ② 油絵の具      ③ 水彩絵の具  
④ 日本画絵の具      ⑤ テンペラ絵の具

(ア)	(イ)
31	32

(b) 次の文は、アクリル絵の具の特性について説明した文である。次の(ア)～(ウ)にあてはまる語句の組合せとして適切なものをそれぞれ①～④から選び、番号で答えよ。

アクリル絵の具は水で溶くことはできるが、乾くと(ア)になる。厚塗りでも薄塗りでも描くことができ、乾燥が(イ)扱い易い便利な絵の具である。また(ウ)さまざまな材料に描くことができるので、幅広い分野で使われている。

- |          |     |          |
|----------|-----|----------|
| (ア)      | (イ) | (ウ)      |
| ① 一旦は耐水性 | 早く  | 吸水性のある   |
| ② 耐水性    | 遅く  | 吸水性のある   |
| ③ 一旦は耐水性 | 遅く  | ガラスや木材など |
| ④ 耐水性    | 早く  | ガラスや木材など |

33

【4】立体表現について、次の問いに答えよ。

(1) 彫刻家イサム・ノグチについて、次の文を読んで、下の問いに答えよ。

イサム・ノグチは、肖像彫刻、舞台美術から環境彫刻にまで幅広く活躍しました。陶器の作品や、和紙を使った「あかり」のデザインなども行いました。国内外の各地で、彫刻、モニュメント、環境設計を続け、「大地を彫刻した男」と呼ばれています。

(ア) 文中の下線部 a の作品はどれか。①～⑤から選び、番号で答えよ。

著作権保護の観点により掲載いたしません。

(イ) 文中の下線部 b と関連するイサム・ノグチの作品はどれか。①～④から選び、番号で答えよ。

著作権保護の観点により掲載いたしません。

35

(ウ) (イ) のイサム・ノグチの作品の所在地は次のうちどこか。①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① アメリカ合衆国イリノイ州シカゴ
- ② アメリカ合衆国ユタ州
- ③ 香川県
- ④ 神奈川県
- ⑤ 北海道

36

(2) 彫刻家ヘンリー・ムーアについて、次の問いに答えよ。

(a) 次の文は、ヘンリー・ムーアについての記述である。次の(ア)、(イ)にあてはまる語句の組合せとして適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

ヘンリー・ムーアは(ア)を代表する彫刻家の一人である。彼がつくる(イ)は、単純化されたり穴があげられたりするなど、抽象的に表現されているものも数多く存在する。それらのイメージの多くは、骨や貝殻などの自然の形体が基になっている。それらを見つめたり触れたりする中から、彼は作品を生み出す重要なヒントを得ているのだ。

- | (ア)    | (イ)         |
|--------|-------------|
| ① 19世紀 | 削ぎ落とされた人体彫刻 |
| ② 20世紀 | 女性像や母子像     |
| ③ 19世紀 | 女性像や母子像     |
| ④ 19世紀 | カラフルな女神像    |
| ⑤ 20世紀 | カラフルな女神像    |

37

(b) ヘンリー・ムーアの作品は、日本各地で鑑賞することができる。次の彫刻作品のうち、ヘンリー・ムーアの作品でないものはどれか。①～⑤から2つ選び、番号で答えよ。

著作権保護の観点により掲載いたしません。

(3) 設置する場所や周囲の環境との調和を考えた彫刻作品づくりについて、(ア)～(ウ)の作品の場所との関係を示す文として最も適切なものをそれぞれ①～⑦から選び、番号で答えよ。

(ア) アニッシュ・カプーア《クラウドゲート》2004年  
「Cloud Gate (曇の門)」と名づけられた巨大な彫刻は、  
アメリカ有数の大都市シカゴに設置されている。

40

(イ) 藤本壮介《直島パヴァリオン》2015年  
多くの観光客が訪れる直島の港に設置された作品。白  
いメッシュを幾何学的に組み合わせ、軽やかな印象を与  
えている。内部に入り、空間の中を上ったり腰掛けたり  
することができる。夕焼けに照らされた姿は、幻想的な  
表情を見せる。

41

(ウ) 安田 侃《意心痛》1983～84年 設置1987年  
有珠山噴火の泥流災害で犠牲になった3名の冥福を祈  
り、噴火災害復興10周年を記念してつくられた。

42

著作権保護の観点により  
掲載いたしません。

- ① 作品とその影が動き、空間の印象を変化させる。
- ② 地元の人々や観光客が気軽に立ち寄って、交流が生まれることを意図してつくられた。
- ③ 優しさを感じさせる形体と素材の質感が環境と調和し、人の心をなごませる。
- ④ ここで遊ぶ子どもたちが、長い時間をかけてこの作品を磨いていくと考える。
- ⑤ 風によって育まれるブドウの豊作への願いが込められている。
- ⑥ 作品の曲面が映し出すゆがんだ光景を見ると、どこに立っているのかわからなくなるような不思議な感覚に陥る。天候や季節によって、全く違う印象を受ける。
- ⑦ 中に入って先端に立てば四季折々の自然の風景を見ることができる。

(4) 彫刻の指導について、次の問いに答えよ。

(a) 加工しやすい「石を彫る」学習を行う際の手順や指導のポイントについて、次の(ア)、(イ)にあてはまる適切な語句をそれぞれ①～④から選び、番号で答えよ。

著作権保護の観点により掲載いたしません。

- (ア) ① のこぎりなどで大まかに切ったり  
② 切り出しなどで大まかに切ったり  
③ のこぎりなどで切れ目を入れて落としたり  
④ 切り出しなどで切れ目を入れて落としたり

43

- (イ) ① サンドペーパーの目を変えながら磨く  
② 細目のサンドペーパーで磨く  
③ 金工やすりで磨く  
④ 水をつけながら耐水ペーパーで磨く

44

(b) 石彫で使う用具について、(ウ) にあてはまる適切な語句を①～⑤から選び、番号で答えよ。

著作権保護の観点により掲載いたしません。

- (ウ) ① 印刀  
② たがね  
③ いもづち  
④ 木工やすり  
⑤ 彫刻刀

【5】デザインについて、次の問いに答えよ。

- (1) 次の文は、イラストレーションの効果についての文である。次の(ア)、(イ)にあてはまる最も適切な語句をそれぞれ①～⑤から選び、番号で答えよ。

イラストレーションはポスターや絵本の挿絵、本の装丁などの様々なものに活用され、(ア)だけでは伝わりにくい内容を、視覚的に分かりやすく豊かに伝えます。また、表現方法や表現する(イ)を工夫することで、見る人を楽しくさせたり、印象を強くさせたりします。

(ア) ① 言葉 ② 色彩 ③ 絵画 ④ イメージ ⑤ 図像

46

(イ) ① 主題 ② 様式 ③ 言葉 ④ モチーフ ⑤ 画材

47

- (2) 次のイラストレーション(ア)、(イ)の解説として最も適切なものをそれぞれ①～⑤から選び、番号で答えよ。

著作権保護の観点により掲載いたしません。

- ① 実写的な顔と平面的な服の対比、無彩色と有彩色の対比が強い印象を与えている。  
② パステルを使用し、人物の柔らかい表情や優しげな雰囲気を描いたイラストレーション。  
③ 形態を整え、省略する部分と細密に表現する部分を描き分けている。写実的な表現で、実物以上の存在感さえあたえる。  
④ 透視画法や色彩対比を用いて描かれた画面には現実的な緊張感があり、さりげないユーモアを効果的に引き立てている。  
⑤ 水彩を用いた柔らかいタッチで、風や光のイメージを視覚化している。

(ア)	(イ)
48	49

(3) デザインの学習活動の流れの説明について、(ア)、(イ)にあてはまる適切な語句をそれぞれ①～④から選び、番号で答えよ。

●目的や課題を理解する

「誰が」「何を」「何のために」「いつ」「どこで」「誰に」「どのように」など（ア）をしっかりと理解しよう。

↓

●情報を集める

いろいろな方法で情報を集め、整理することで、課題への理解が深まり、課題解決への道筋が見えてくる。

↓

●発想を広げる

個人やグループで発想を広げる。話し合うときは、自由に発言しやすいように心がけ、友達の見解を参考にする。アイデアスケッチなどを使って検討してみよう。

↓

●制作する

実際に制作する。印象的で（イ）があるか、さらに使いやすくするためにはどうすればよいかなどを検討し、必要に応じて修正する。事前に模型などをつくって確かめるのも効果的である。

(ア) ① 条件に合った材料や技法

② 使われる場面や目的

③ つくるものの色や形

④ 表現したい主題

50

(イ) ① 個性・自分らしさ

② 新規性

③ 共感や感動

④ 特色

51

(4) デザインの学習で、発想を広げる方法とその説明について、誤りのあるものを①～⑤から2つ選び、番号で答えよ。

① マッピングを活用する

著作権保護の観点により  
掲載いたしません。

マッピングは、紙の中央にテーマを書き、連想する言葉を次々とメモして、線でつないでいく方法。ウェビングともよばれる。

② 9マスの表を活用する

著作権保護の観点により  
掲載いたしません。

左上のマスにテーマを書き、残りの8マスにテーマから連想した事柄を書き出す方法。

③ 知っているものを組み合わせる

著作権保護の観点により  
掲載いたしません。

組み合わせる(足し算)することで、新たな形や発想につながることもある。

④ 円(ベン図)で考えを整理する

著作権保護の観点により  
掲載いたしません。

複数ものを比べて鑑賞するときは、円の中に気づいたことを書き込むと、考えを整理しやすい。円が重なる部分には共通点を書き込む。円を増やして、三つのものを比べることもできる。

⑤ 話し合ってみ方や考え方を広げる

著作権保護の観点により  
掲載いたしません。

自分以外の誰かと話し合うことは、考えを広げたり、深めたりするときに役に立つ。話し合いのときには、付箋を活用したり、メンバーを固定したりして話し合うとより効果的である。

【6】 工芸について、次の問いに答えよ。

(1) 次は、我が国の風土に合った染織品と用途に合った編組品についての説明文である。

南北に長い日本列島には、地域の風土や自然に根ざした工芸がある。例えば、染織品の場合、a.北の地域では冬の寒さに耐え、b.南の地域では夏の暑さをしのぐ素材が重宝されたり、また編組品では、身近にある竹や樹皮などを素材に独自の技法を駆使し、地域の用途にあった工芸品がつくられたりしている。

(ア) 下線部 a、b にあてはまるものをそれぞれ①～⑤から選び、番号で答えよ。

著作権保護の観点により掲載いたしません。

a	b
54	55

(イ) 下線部 c にあたるもののひとつである「大分県 別府竹細工」を①～④から選び、番号で答えよ。

著作権保護の観点により掲載いたしません。

(2) 工芸の指導で用いる次の3種類の接着剤とその説明について、適切な組合せはどれか。それぞれ①～⑧から選び、番号で答えよ。

i 木工用接着剤      ii ゴム系接着剤      iii 瞬間接着剤

	用途	特性
①	木、プラスチック、 革、ゴム	接着する両面に塗布し10～20分程乾かしてから貼り合わせるとすぐに接着される。使用時はよく換気する。
②	木、プラスチック、 革、ゴム	主剤に同量の硬化剤を混ぜ合わせ使用する。硬化時間、固定時間、実用強度に達する時間を把握して作業することが重要。2液の蓋の閉め間違いに要注意。
③	木、紙、布、革	耐水性が低いため屋外や水場には適さない。木口を接着する場合などは木が接着剤を吸い込むので多めに塗布する。
④	プラスチック、ゴム、 金属など (仮止めに用いることが多い)	耐水性が低いため屋外や水場には適さない。木口を接着する場合などは木が接着剤を吸い込むので多めに塗布する。
⑤	プラスチック、ゴム、 金属など (仮止めに用いることが多い)	瞬時に硬化するため、迅速な接着作業をおこなわなければならない。広範囲の接着には不向き。素材によって粘度のタイプを使い分ける。開封後は保存しておくことが難しいため、早めに使い切る。
⑥	金属・ガラス・陶磁器・ タイル・石・ コンクリート・木材	主剤に同量の硬化剤を混ぜ合わせ使用する。硬化時間、固定時間、実用強度に達する時間を把握して作業することが重要。2液の蓋の閉め間違いに要注意。
⑦	金属・ガラス・陶磁器・ タイル・石・ コンクリート・木材	瞬時に硬化するため、迅速な接着作業をおこなわなければならない。広範囲の接着には不向き。素材によって粘度のタイプを使い分ける。開封後は保存しておくことが難しいため、早めに使い切る。
⑧	様々な素材に使用可能	空気中や接着面の水分に反応し硬化する。弾力性のあるゴム状になり、衝撃吸収性に優れ強力な接着力を発揮。耐水性・耐熱性があり、屋内・屋外・凸凹面・水回りでの使用が可能。使い切れなかった場合は、容器内の空気を抜いて蓋を閉め、早めに使い切る。

i	ii	iii
57	58	59

【7】 次の文は、美術館の役割・機能について説明したものである。誤った部分があるものを①～⑩から3つ選び、番号で答えよ。

- ① 美術館には、貴重な作品を収集し、大切に守り伝える役割がある。
- ② 各館の特色を出すために、収集のテーマを決めていることがある。
- ③ 展示室や収蔵庫は温湿度を季節に合わせて変えるなど、作品の保存に適した環境になっている。
- ④ 学芸員が作品や作家、技法などに関する調査・研究を行う。
- ⑤ この研究成果が様々な展覧会の企画につながったり、作品を修復するときの参考になったりする。
- ⑥ 優れた作品をより多くの人に見てもらうために展覧会を開催する。
- ⑦ 展覧会には、自館の収蔵品で構成する「企画展」や、あるテーマに基づいて他館や所蔵者から作品を借り、一定期間展示をする「収蔵品展」などがある。
- ⑧ 作品の魅力を伝え、来館者に見やすく分かりやすい展示にするために、作品の並べ方や照明の当て方など展示方法を工夫している。
- ⑨ 多くの人に美術や美術館について興味をもってもらうために、様々な教育・普及活動を実施している。
- ⑩ スタッフと対話しながら鑑賞する「ギャラリー・トーク」や、「ワークショップ」と呼ばれる遠隔プログラムなど、来館者は美術や美術館と多様なかかわり方ができる。

60	61	62
----	----	----

【8】映像メディア表現とその指導について、次の問いに答えよ。

映像表現の特徴とそれを生かす工夫のその際の注意点について、(ア)～(ウ)にあてはまる語句をそれぞれ①～④から選び、番号で答えよ。

映像表現の最も大きな特徴は、1枚の絵や写真では表すことのできない(ア)を表現できることにあります。コマーシャルなどの情報を伝える映像表現は、具体物や象徴的なイメージを用いて、構図やコマ割りなども工夫して印象に残るように伝えています。

映像表現ならではの特徴は何かを考え、それらを効果的に生かし、学校紹介やコマーシャルなど、伝えたいメッセージや情報に合った映像を作りましょう。また身の回りの人だけでなく、(イ)に伝わるような工夫も考えてみましょう。

ただし、撮影禁止の場所では撮影しないようにしましょう。

また、人の顔を無断で撮影・公開したりすると、プライバシー権や(ウ)の侵害になります。

著作権保護の観点により  
掲載いたしません。

- (ア) ① 時間の経過や動き      ② 時間の経過や感情  
     ③ 空間の広がりや感情      ④ 時間の経過や空間

63

- (イ) ① 描いたもの              ② 広く社会  
     ③ ビデオの映像            ④ コンピュータの画面

64

- (ウ) ① 意匠権                    ② 肖像権  
     ③ プライバシー              ④ 著作権

65